

発言者	意見の内容	対応の考え方
① 池田教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料17の若年者対策の取組みの案なのですが、予防ということであれば、できれば学生に直接知識が普及されるほうがいいのかなと思ひまして、例えば職員に対する研修プラス新入生オリエンテーションでの啓発まで入れてもらえるといいのではないかなという感想を持ちました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画素案たたき台の発症予防(一次予防)－(1)教育、広報等による普及啓発の推進【具体的な取組】○20歳未満の者への普及啓発に記載しました。</li> </ul>
田辺座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生の段階で、オリエンテーションを検討する方向というのは良い御指摘だと思いますので、今後また検討していきたいと思ひます。</li> </ul>	素案たたき台 <ul style="list-style-type: none"> <li>20歳未満の学生が通う大学や専修学校に対し、新入生オリエンテーション、ガイダンスにおけるギャンブル等依存症に関する普及啓発や、学生相談室で活用できるリーフレットを配布します。</li> </ul>
② 池田教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の対策として市町村との連携があると思うのですが、改めて道の現状を見たときに、道全体の数値はわかりますが、北海道といっても広いので、例えば二次医療圏ごとだとか、地域ごとに相談件数に違いがあるのかなどのデータがあるのでしょうか。もしあれば、それを出してもいいのかなと思ひました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考資料(3)保健所が実施した精神保健福祉相談(ギャンブル等依存症)の相談延人員を作成しました。 出典：地域保健・健康増進事業報告(H25年度～R2年度)</li> </ul>
④ 黒川医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料19の1(1)計画の目的等のところなのですが、これはこれで良いかと思ひますが、ギャンブル等依存症及びそれに巻き込まれる家族の問題を全体に考えるのであれば、「国民の健康を保護し」だけではなく、「国民の生活と健康を保護し」というように生活を健康と並べて書いてあるほうがイメージしやすいと思ひます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料19「第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画【基本的な考え方】(案)を修正(太字)しました。</li> </ul> 1 計画策定の目的等－(1)計画の目的 本道の実情に即した総合的かつ計画的なギャンブル等依存症対策を進めるための基本的方向を定め、 <b>道民の健全な生活の確保を図り</b> 、「安心して暮らすことのできる社会」の実現を目指す。
⑤ 野澤主査	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料19の5(2)北海道の現状の函館競輪の部分で、令和2年度の売上額が119億とありますが、実は令和2年度はコロナの関係で、当初の予定より開催が19日間少なくなっております。そのため、売上が著しく低い数字になっておりまして、載せるのであれば令和3年度の売上を載せていただきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料7「北海道のギャンブル等依存症の現状」、資料19「第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画【基本的な考え方】(案)を修正(太字)しました。</li> </ul> 資料7－2p【函館競輪】R3年度実績を追加 資料19－5ギャンブル等依存症の現状－(2)北海道の現状【函館競輪】 <b>令和2年までの売上額はほぼ横ばいだったが、令和3年の売上額は増加に転じ268億円</b>
⑥ カトレア会	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットの配布先を大学だけではなく、保健所は地域にあるので、地域の催し物のときに「依存症の相談は保健所に」というリーフレットを配ると、広く知らせることができるのではないかなと思ひます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各保健所に対し、地域のイベント等でリーフレットを配布するなど、広く相談窓口を周知するよう依頼します。</li> </ul>